

## 12. 平成24年度基地関係収入

区分	市町村名	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律					小計 A~Eの計 F	基地交付金				返還道路整備事業補助金 J
		障害防工事の助成 (3条) A	住宅防音工事の助成 (4条) B	移転の補償 (5条) C	民生安定の施設助成 (8条) D	特定防衛施設周辺整備調整交付金 (9条) E		国有施設等交付金 G	提供所在市町村助成金 H	施所市調交付金 I	設町交付金 J	
◎	1 那覇市					64,818	64,818	236,861	56,940	293,801		
○	2 宜野湾市	49,852				160,090	209,942	121,201	411,563	532,764		
○	3 石垣市							300		300		
○	4 浦添市	9,508				70,807	80,315	206,695	306,646	513,341		
◎	5 名護市	278,790				109,720	388,510	99,984	186,857	286,841		
□	6 糸満市				1,907		1,907	11,154		11,154		
◎	7 沖縄市	70,149			428,331	557,228	1,055,708	528,781	804,199	1,332,980		
	8 豊見城市											
◎	9 うるま市	113,158			308,173	221,939	643,270	170,844	381,566	552,410		
□	10 宮古島市							14,687		14,687		
□	11 南城市	9,009					9,009	13,499		13,499		
◎	12 国頭村				100,430	34,423	134,853	22,636	28,331	50,967		
	13 大宜味村											
○	14 東村					43,658	43,658	35,408	46,423	81,831		
	15 今帰仁村											
◎	16 本部町							300	12,384	12,684		
◎	17 恩納村	226,839			584,444	112,617	923,900	30,152	20,597	50,749		
○	18 宜野座村	19,231			15,891	131,703	166,825	43,825	61,879	105,704		
◎	19 金武町	69,898			1,191	153,495	224,584	249,907	266,102	516,009		
○	20 伊江村	363,031	303,880		191,280	315,104	1,173,295	33,745	32,989	66,734		
○	21 読谷村				134,988	245,182	380,170	65,151	240,575	305,726		
○	22 嘉手納町		22,500		58,350	504,905	585,755	259,987	662,747	922,734		
○	23 北谷町	6,765				314,053	320,818	314,488	538,094	852,582		
○	24 北中城村					51,122	51,122	86,014	219,712	305,726		
	25 中城村		53,180		120,159		173,339					
	26 西原町											
	27 与那原町											
	28 南風原町											
	29 渡嘉敷村											
	30 座間味村											
	31 粟国村											
○	32 渡名喜村					76,872	76,872		300	300		
	33 南大東村											
○	34 北大東村											
	35 伊平屋村											
	36 伊是名村											
◎	37 久米島町				173,913	64,764	238,677	15,036	300	15,336		
□	38 八重瀬町	5,637					5,637	8,137		8,137		
	39 多良間村											
	40 竹富町											
	41 与那国町											
都	市 計	530,466			738,411	1,184,602	2,453,479	1,404,006	2,147,771	3,551,777		
町	村 計	691,401	379,560		1,380,646	2,047,898	4,499,505	1,164,786	2,130,433	3,295,219		
市	町 村 計	1,221,867	379,560		2,119,057	3,232,500	6,952,984	2,568,792	4,278,204	6,846,996		

備考:米軍基地または自衛隊基地が所在するのは、計25市町村となっている(沖縄防衛局資料より)。

◎米軍基地及び自衛隊基地が所在する市町村(9団体)

○米軍基地のみが所在する市町村(12団体)

□自衛隊基地のみが所在する市町村(4団体)

(単位：千円、%)

区分	市町村名	防音事業 関連補助金 K	施設取得 委託金 L	財産運用 収入(基地 関係のみ) M	その他 N	うち 再編交付金	合計 F+I+J+K+ L+M+N (鳥壺事業含まず) O	歳入総額に 占める割合 (鳥壺含まず) O/S P	島国 庫算 Q	歳入総額に 占める割合 (鳥壺含む) (O+Q)/S R	歳入総額 (決算額) S
◎	1 那覇市	45,871	200	102,441			507,131	0.4		0.4	129,959,613
○	2 宜野湾市	70,632	200	124,134	131,102		1,068,774	3.1		3.1	35,008,246
○	3 石垣市						300	0.0		0.0	23,160,081
○	4 浦添市	84,750	100		115,017	107,835	793,523	1.8		1.8	44,050,489
◎	5 名護市		400	1,992,408			2,668,159	7.9		7.9	33,681,451
□	6 糸満市						13,061	0.1		0.1	21,324,741
◎	7 沖縄市	143,025	900	1,053,500	142,082		3,728,195	6.7		6.7	55,269,998
	8 豊見城市										19,402,871
◎	9 うるま市	119,720	900	301,936	39		1,618,275	3.3		3.3	49,208,954
□	10 宮古島市						14,687	0.0		0.0	37,906,804
□	11 南城市						22,508	0.1		0.1	19,728,705
◎	12 国頭村		150	42,861	4,336		233,167	4.0		4.0	5,852,003
	13 大宜味村										4,110,352
○	14 東村						125,489	4.7		4.7	2,691,243
	15 今帰仁村										5,513,624
◎	16 本部町			1,205			13,889	0.2		0.2	7,937,550
◎	17 恩納村	11,971	700	1,657,560	47,654	47,654	2,692,534	33.7		33.7	7,991,857
○	18 宜野座村	8,623	200	1,863,437	193,799	193,799	2,338,588	30.0		30.0	7,798,297
◎	19 金武町	14,736	1,000	1,898,335	122,756	122,756	2,777,420	27.2	1,285,784	39.8	10,201,065
○	20 伊江村	4,362	700				1,245,091	17.6		17.6	7,073,512
○	21 読谷村	38,752	200	555,146			1,279,994	9.3		9.3	13,814,566
○	22 嘉手納町	24,116	1,008	430,153			1,963,766	22.8		22.8	8,598,538
○	23 北谷町	27,491	200	227,876			1,428,967	10.1		10.1	14,170,688
○	24 北中城村	13,616	182	21,834	5,000		397,480	6.6		6.6	5,989,934
	25 中城村	9,550					182,889	2.6		2.6	6,985,452
	26 西原町	12,495					12,495	0.1		0.1	12,895,469
	27 与那原町										7,763,207
	28 南風原町										12,796,082
	29 渡嘉敷村										1,726,709
	30 座間味村										1,809,766
	31 粟国村										1,845,166
○	32 渡名喜村	652	100	14,096			92,020	8.0		8.0	1,153,613
	33 南大東村										4,365,498
○	34 北大東村										3,590,203
	35 伊平屋村										2,463,020
	36 伊是名村										2,888,385
◎	37 久米島町			18,309			272,322	3.6		3.6	7,502,998
□	38 八重瀬町						13,774	0.1		0.1	11,678,524
	39 多良間村										2,531,591
	40 竹富町										6,565,009
	41 与那国町										2,766,262
都	市計	463,998	2,700	3,574,419	388,240	107,835	10,434,613	2.2		2.2	468,701,953
町	村計	166,364	4,440	6,730,812	373,545	364,209	15,069,885	7.8	1,285,784	8.5	193,070,183
市	町村計	630,362	7,140	10,305,231	761,785	472,044	25,504,498	3.9	1,285,784	4.0	661,772,136

基地の所在しない市町村であっても、近隣基地による騒音等の影響から、助成等される場合がある。

基地交付金及び歳入総額(決算額)以外は各市町村の報告数値である。

その他は、残地補償金、防衛施設周辺補償事業補助金交付要領による補償事業及び防衛省関連文化財発掘事業等である。

### 13. 財公用語ニ解説

用語	見方	算式
形式収支	歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額。普通会計の形式収支は、現金主義の建前に立っているため、当該年度における、収入された現金と支出された現金の差額を表示するにとどまり、当然、歳入決算額が歳出決算額を上回れば黒字決算であり、下回れば赤字決算となる。	歳入決算額－歳出決算額
実質収支	決算収支を表すもので、累年による黒字、赤字の額を示す。一定の黒字を出すことが財政運営の基本であり、後年度の財源調整として適度の余剰も考えられる。	(歳入－歳出)－翌年度へ繰越すべき財源
単年度収支	実質収支は前年度からの収支の累積であるため、その影響額を控除した単年度の収支のこと。	当該年度の実質収支－前年度の実質収支
実質単年度収支	単年度収支のなかには実質的な黒字要素や赤字要素が含まれている。これらを控除した単年度収支を実質単年度収支という。	当該年度実質収支－前年度実質収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額
標準財政規模	当該団体の経常的一般財源の規模を示した額のこと。	{ (基準財政収入額－各種譲与税－交通安全対策特別交付金) × 100/75 + 各種譲与税＋交通安全対策特別交付金 } + 普通交付税額 + 臨時財政対策債発行可能額
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支額の割合 実質収支額が黒字の場合は正数、赤字の場合は負数で表示される。黒字の場合、おおむね3%～5%が望ましいとされる。	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100 (\%)$ <small>(H19より臨時財政対策債発行可能額含む)</small>
財政力指数	当該団体の財政力を表す指標 基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の当該年度を含む過去3ヶ年の平均値を言う。「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。	$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ の3ヶ年平均
実質公債費比率	許可制だった地方公共団体の地方債発行(起債)が平成18年度から協議制となり、総務大臣や都道府県知事の同意が得られなくても議会で報告した上で起債できることとなったことから、地方債の信用維持等の観点から新たに導入された財政指標であり、また、起債に際し許可が必要となるかどうかを判定する基準の一つ。 これまで起債制限に用いられてきた「起債制限比率」を見直し、従来は考慮されていなかった公営企業の支払う元利償還金に対する一般会計の繰出金や一部事務組合等の公債費類似経費(負担金等)も算定に加えるなどして、「起債制限比率」より連結決算の考え方が反映されている。 この比率が18%以上の団体は起債に際し許可が必要となり、さらに25%以上の団体については一定の地方債の起債が制限され、35%以上の団体については、さらにその度合いが高まる。  《起債制限比率との相違点》 1) 実質的な公債費を算定対象に追加 ・公営企業債の元利償還金への一般会計からの繰出しを算入 ・PFIや地方公共団体の組合の公債費への負担金等の公債費類似経費を原則算入 2) 満期一括償還方式の地方債に係るルールの一掃 ・減債基金積立額を統一ルールで実質公債費比率に算入 ・減債基金積立不足がある場合は、実質公債費比率に反映	$\frac{(A+B) - (C+D)}{E+F-D}$ 当該年度前3年度の平均値 A: 地方債の元利償還金(公営企業分及び繰上償還等を除く) B: 地方債の元利償還金に準ずるもの(「準元利償還金」) C: 元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源 D: 地方債に係る元利償還に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額(「算入公債費の額」)及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算定された額(「算入準公債費の額」) E: 標準財政規模(「標準的な規模の収入の額」) F: 臨時財政対策債発行可能額  * 実質公債費比率の算定において除かれる元利償還金(上記A関連) ① 公営企業債の元利償還金 ② 繰上償還を行ったもの ③ 借換債を財源として償還を行ったもの ④ 満期一括償還方式の地方債の元利償還金 ⑤ 利子支払金のうち減債基金の運用利子等を財源とするもの * 「準元利償還金」(上記B関連) ① 満期一括償還方式の地方債の1年当たり元金償還金相当額 ② 公営企業債の元利償還金に対する一般会計からの繰出金 ③ 一部事務組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金 ・補助金 ④ 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの(PFI事業に係る委託料、国営事業負担金、利子補給など) ⑤ 一時借入金の利子

用語	見方	算式
公債費負担比率	公債費に係る財政負担の度合いを判断する指標の一つである。 現実に歳入のあった一般財源と起債発行経費を含む公債費に充当された一般財源等の割合を示し、税の徴収率の高低、基地関係等交付金の有無、災害復旧事業費等交付税算入公債費対象事業の多寡、地域総合整備事業債等事業補正対象事業の多寡など、個々の団体の事情が反映される指標となっている。一般的には、財政運営上15%が警戒ライン、20%が危険ラインとなっている。	公債費充当一般財源等÷歳出総額充当一般財源等+歳出剰余金等充当一般財源×100 (%)
経常収支比率	財政構造の弾力性を測定する比率 人件費、扶助費、公債費等の義務的経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかをみる指標で、この比率が低いほど普通建設事業費等の臨時的経費に充当できない一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。 75% 程度・・・安全ゾーン ※ 一般的に 76%~85%・・・要注意ゾーン 86% 程度・・・危険ゾーン	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100 (\%)$
一般財源	財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるものを一般財源という。 なお、いわゆる一般財源のほか、臨時財政対策債等の一般財源と同様に使用される財源を合わせて決算統計上は「一般財源等」と表現している。	一般には、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、軽油引取税交付金などを一般財源という。
自主財源と依存財源	地方公共団体が自主的に収入しうる財源を自主財源といい、国及び都道府県の意思により交付されたり、割当てられたりする収入を依存財源という。	自主財源には、地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入が含まれる。 依存財源には、地方交付税、国庫支出金、都道府県支出金、地方譲与税、地方債が含まれる。
義務的経費	地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費であり、極めて硬直性の強い経費である。	人件費、扶助費、公債費の3つの費目が義務的経費とされている。
投資的経費	その支出の効果が資本形式に向けられ、施設等がストックとして将来に残る物に支出される経費をいう。	生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費があげられる。

## 14.資料・出典 (Ⅱ 市町村別概要)

市町村コード:総務省 全国地方公共団体コード  
 類型:総務省 都道府県別類似団体区分一覧表  
 所在地、TEL、FAX、ホームページ、指定地域:市町村照会による

### 〈組織〉

【三役、教育長】

市町村照会による  
 平成26年3月31日現在

### 〈概要〉

【面積】

全国都道府県市区町村別面積調 国土地理院 H25.10.1 〔H25年度交付税 算定資料〕	耕地面積調査 沖縄総合事務局 農林水産部 統計調査課 H25.7.15	土地に関する概 要調査報告書 (宅地総面積) H25.1.1
---	---	---

### 【議会】

市町村照会による  
 平成26年3月31日現在

### 【人口】

住民基本台帳の概要 H25.3.31	国勢調査(総務省統計局) H22.10.1 H17.10.1
-----------------------	-----------------------------------

### 【世帯数】

住民基本台帳の概要 H25.3.31	国勢調査 H22.10.1
-----------------------	---------------

### 【職員】

職員数、職員実数及び類似団体:  
 平成25年 地方公共団体定員管理調査  
 ラス指数:地方公務員給与実態調査より算出  
 ※類似団体の実数は単純値、()は修正値

### 【有権者数】

選挙人名簿 定時登録者報告  
 (沖縄県選挙管理委員会)平成26年3月2日

### 沿革

市町村照会による

### 〈基本構想〉

市町村照会による

### 〈市の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

市町村照会による

### 〈平成25年度主要事業〉

市町村照会による

### 〈広域市町村圏・広域計画〉

市町村照会による

### 〈基地面積〉

沖縄の米軍及び  
 自衛隊基地  
 市町村別基地面積  
 平成25年3月末現在  
 (沖縄防衛局資料)

### 〈今後の主要プロジェクト〉

市町村照会による

〈教育〉

学校基本調査  
(平成25年5月1日現在)

〈産業〉

① 産業別就業者数

国勢調査 H22.10.1  
産業大分類別就業者数

② 市内純生産

H23経済活動別市町村内純生産  
(県統計課)

〈医療〉

施設数: 公共施設状況調査(平成24年度)  
病床数: 公共施設状況調査(平成24年度)  
住民千人当たりの病床数  
病床総数÷H25.3.31住基人口×1000  
※ 公立久米島病院は、施設所在地の  
久米島町立としてカウント

〈福祉〉

保育所の施設数、定員及び入所児童数調  
平成25年4月1日現在  
(県青少年・児童家庭課)

老人福祉センター: 公共施設状況調査  
(平成17年度)

生活保護率(H24年度平均)  
(県福祉保健企画課: 世帯保護統計月報)

〈財政〉

① 決算収支

地方財政状況調査(決算統計)

② 主要指標

地方財政状況調査(決算統計)

⑤ 公営事業会計等における繰入等の状況

地方財政状況調査  
(平成24年度決算統計)

地方公営企業決算状況調査  
(平成24年度決算統計)

法非適用企業は実質収支  
法適用企業は純損益

④ 基地関係収入

地方財政状況調査  
(平成24年度決算統計  
参考資料)

区分については、  
12.基地関係収入を参照

③ 歳入の状況

地方財政状況調査  
(平成24年度決算統計)

③ 歳出の状況

地方財政状況調査  
(平成24年度決算統計)

〈行政の特色〉

市町村照会による